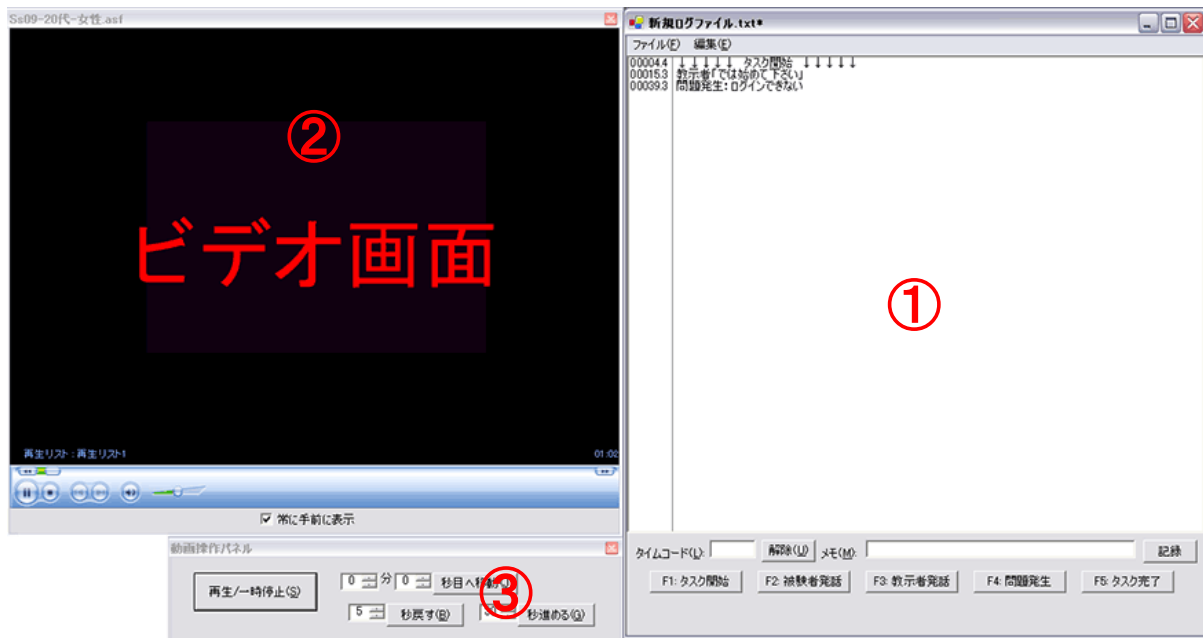


動画眼 Ver.1.5 操作マニュアル

■画面構成



1. ログウインドウ

ログを入力、閲覧するウインドウです。初期状態ではこのウインドウだけが表示されています。メニュー、ログ表示部、入力操作部から成っています。

ログ表示部には、各タグがリスト表示されます。個々のタグはタイムコードとメモから成っており、動画を再生中に任意のタグをダブルクリックすると、そのタイムコードが指すシーンが頭出しされます。タグを修正したり削除するには目的の行で右クリックします。

入力操作部ではタグの追加入力を行います。動画が再生中でないと記録ができません。「メモ(M)」フィールドにメモを入力し、「記録」ボタンまたはリターンキーを押すと、その時点の動画再生位置をタイムコードに用いてタグが保存されます。

上記の方法だと書いている間に目的のシーンを過ぎてしまうことが考えられるので、先にタイムコードを固定しておく“ロックオン機能”があります。「タイムコード(L)」欄をクリックすることでロックされます。取り消すには「解除(U)」ボタンをクリックします。

F1～F5 キーで5種類の定型文を即座に入力することができます（該当ボタンをクリックしてもOKです）。現バージョンではここはカスタマイズ不能です。

また、各ボタンラベルについているカッコ内のアルファベットは ALT キーを押しながらそのキーを押すことでショートカットになることを示しています。

2. 動画ウインドウ

動画が表示されるウインドウです。インストールされている WindowsMediaPlayer のバージョンにより多少外観が変化します。スライダーで任意の位置にジャンプしたり、再生、停止、音量などの制御が可能です。

ウインドウのサイズは再生する動画によって変化します。また外枠をドラッグしてリサイズすることも可能です。

「常に手前に表示」チェックボックスをオンにすると、このウインドウが背後にまわって見えなくなってしまうのを防ぐことができます。

3. 動画操作パネル

動画の再生や停止、早送り、早戻しなどの制御を行います。各フィールドの数値を書き換えることで、一定時間進めたり戻したり、特定の時間にジャンプしたりできます。数値を書き換える時以外は各ボタンに割り当てられたショートカットを利用する方が効率的です（ALT キーを押しながら（）内のアルファベットをタイプして下さい）。

4. 環境設定

「編集」メニューから呼び出すことができます。

タイムコードと実際の再生位置を指定秒数ずらす設定ができます。これは、実際には「ここ」と思った地点よりも少し手前から再生される方が便利ながために実装しました。初期値は1秒手前から再生するようになっています。

■おおまかな操作の流れ

ツール起動後、「ファイル」メニューから「動画ファイルを選択...」を選択して目的の動画を選びます。この時、同名で拡張子が txt のファイルが同じフォルダにあるとログファイルと一緒に読み込んでくれます。

ログファイルは別の場所にある場合は、「ファイル」メニューの「ログを開く...」を使って読み込みます。

追加のログファイルをマージしたい場合は、「ログを追加する...」を利用して下さい。先に読み込んだログに追加する形で読み込まれます。動画眼 Note などを使って複数人で記録してある場合などに便利です。

動画を再生した状態で、再生したいタグをダブルクリックすると、そのタイムコード位置にジャンプして再生されます。

タグを記録したい場合は、目的の再生位置まできたところで ALT+L をタイプして“ロックオン”し、メモ欄にタグ内容を記入し、最後にリターンを押すか「記録」ボタンをクリックします。

ログを更新したらファイルメニューから保存を行って下さい。

■静止画キャプチャ機能について

Ver1.5 より実験的に指定したコマの静止画保存ができるようになりました。これはオープンソースソフトウェアの ffmpeg. exe を利用して簡易的に実装しているものです。使えたらラッキー位の気持ちでお試し下さい。

・準備

ffmpeg. exe はライセンスの関係で動画眼インストーラーパッケージには含まれません。公式サイトは <http://ffmpeg.org/> ですが、ここではソースファイルしか公開しておらず自分でコンパイルしなければなりません。2011 年 1 月現在、以下のサイトで Windows 向けにコンパイルした実行ファイル (. exe) を配布してくださっているので、こちらを利用するのが簡単でしょう。Zip アーカイブをダウンロードし解凍すれば ffmpeg. exe が出てきます。

<http://blog.k-tai-douga.com/category/359294-1.html>

これを動画眼. exe と同じ場所に保存して下さい。通常は、

- C:\Program Files\道具眼\動画眼\
- C:\Program Files (x86)\道具眼\動画眼 (64bit 版 Windows の場合)

のどちらかになります。

次に静止画ファイルの保存先を環境設定画面で指定します (DVD メディアなど書き込み禁止メディアから動画を読み込むことを考えて、別フォルダを指定する形式にしています)。

保存されるファイル名は、

(元動画ファイル名) _00060. jpg

のようになります。数字は動画先頭からの秒数を示します。

・使い方

現在プレイヤー画面に映っている画面をキャプチャするには動画操作パネルの「画面写真」ボタンをクリックします。キーボードショートカットは Alt + C です。

ログ欄でタグ打ち済みのカットを保存した場合は、該当行で右クリックし「この画面写真を撮る」を選択します。複数行選択をして一括保存もできます。

・制限事項

開いてる動画を ffmpeg. exe で別途読み込んで処理しますので、動画眼の対応動画形式と必ずしも一致しません。一般的に ffmpeg の方が対応範囲は広いですが、形式によっては動画眼で開いているのに ffmpeg が対応しておらず静止画保存できない、という場合もあり得ます。また秒数指定

も解釈の違いで若干ズレてしまう可能性もあります。この辺りはまだ十分な検証ができていません。ご了承下さいませ。

また同じ理由で、処理速度が比較的遅く、特に DVD 等読み込みの遅いメディアにあるファイルを扱っていて、なおかつ連続撮影をした場合などは極端に遅くなる場合があります。

■動画眼 Tips

動画と同じ名前のログファイル（例：session1.mpg に対して session1.txt）を同一フォルダに保存しておく、動画を開いた時にログも一緒に読み込まれて便利です。

ほぼ全ての操作にキーボードショートカットが割り当てられています。特に動画の再生／停止やスキップなどはそちらを利用すると効率的です。

文字を打っている間にタグ付けしたかったシーンを通り過ぎてしまう、という場合はロックオン機能を使ってみてください。ALT+L キーでタイムコードを先にロックしておいて、後からテキスト入力することができます。

記録位置と再生位置がズれる場合や、少し手前から再生した場合は、環境設定で秒単位のオフセット値を指定できます。

ログファイルは単純なタブ区切りのテキストファイルなので、他のツールで編集したりマージしたりといったことが簡単に行えます。

ちゃんと検証した訳ではないですが、WindowsMediaPlayer で再生できる wma や mp3 といった音声ファイルでも同様に扱えるはずですので、ボイスレコーダーで録音した音声ファイルのテープ起こしなどにもお使いいただけたと思います。

■FAQ

Q. エラーが出て起動できません

A. お使いの Windows に .NET Framework 3.5 がインストールされているかご確認ください。 .NET Framework Runtime は VisualStudio で作成したプログラムを実行するのに必要なコンポーネントで Microsoft から無料で配布されています。Windows Update のカスタム・インストールから導入するか、 .NET Framework の公式サイトからインストーラーをダウンロードしてお使いいただけます。

Q. ○○形式の動画が開けません

A. まず WindowsMediaPlayer で開けるかお試し下さい。本ツールは WindowsMediaPlayer の再生コ

ンポーネントに依存していますので、お使いの動画に対応した DirectShow フィルタをインストールし、WindowsMediaPlayer で再生できる状態にしてからご利用下さい。一般的な動画形式に関しては、同梱の「動画形式について.pdf」もご覧下さい。

Q. 動画ウインドウを開く時にエラーが出ます

まず上記の方法で動画ファイル自体の再生に問題がないか確認してください。WindowsMediaPlayer では開けるが動画眼ではダメ、という場合は、お使いの WindowsMediaPlayer のバージョンが古いことが考えられます。動画眼では WindowsMediaPlayer9 以上がインストールされている必要があります（2007.6 時点での最新は 11）。こちら Windows Update などから無料で入手することができます。

Q. キーボードショートカットはどうやって使いますか？

A. ラベルに「(A)」のような表記があるものは、ALT キーを押しながらそのアルファベットをタイプすることでクリックしたのと同じ結果を得られます。ただし、動画ウインドウが最前面に來ていると機能しない場合があります。一度ログウインドウをクリックしてから試してみてください。

Q. 「ロックオン」とはなんですか？

A. 文字入力している間に動画がどんどん先に進んでしまい、目的の位置にタグ付けできない問題を解決する手段で、「ここにタグ付けしよう」と思った時点で先にタイムコードだけを固定することができます。ALT+L キーをタイプするか、タイムコード欄をクリックすることで発動します。

Q. 「ロックオン」を解除したいのですが？

A. タイムコード欄の隣の「解除」ボタン（ALT+U）を使います。また、もう一度ロックオンし直すことで上書きすることも可能です。

Q. 環境設定を変更して「保存」ボタンを押すとエラーになります。

A. 動画眼では実行ファイル（do-gagan.exe）と同じ位置に設定ファイルを作成します。なので、CD-ROM などの書き込み不可メディアやサーバー上の書き込み権限がないエリアから実行している場合は、設定ファイルが作成できずエラーになります。

インストーラーを用いてローカルのハードディスクにインストールしてお使いになることをおすすめします。

Q. 静止画保存をしようすると「インストールフォルダに ffmpeg.exe が存在しません。」と言われます

A. 「■静止画チャプター機能について」の「準備」を参照して下さい。

Q. 静止画保存操作をしてシャッター音もしますが、指定フォルダにはファイルが出来ません

A. お使いの ffmpeg.exe が読み込んでいる動画の形式に対応していない可能性があります。最新版

でも対応していない場合は申し訳ありませんがこちらでも対応できません。

Q. どうして「動画眼（どうががん）」という名前なんですか？

A. 我々の組織名「道具眼（どうぐがん）」と韻を揃えてみました。